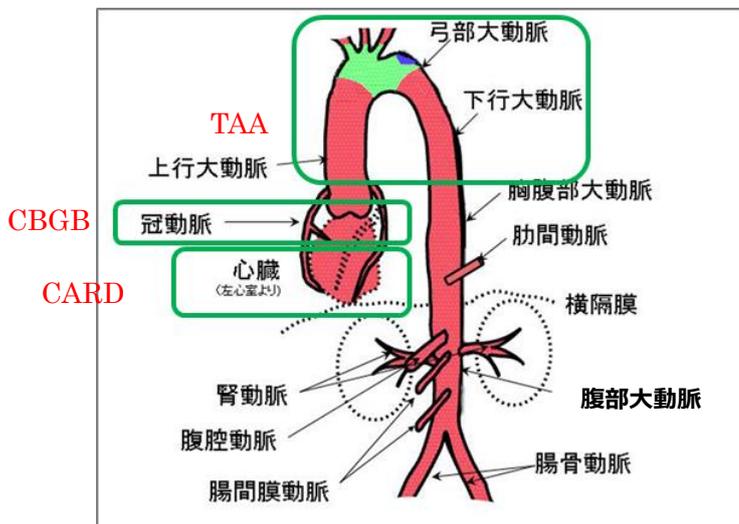


10 SSI 部門の合併手術登録方法

合併手術で SSI が発生した手術手技をサーベイランス対象としていないケースの登録方法

例) 心臓手術 (CARD)、胸部とグラフト採取部位の切開を伴う冠動脈バイパスグラフト (CBGB)、胸部大動脈手術 (TAA) を行い、弓部大動脈の人工血管の感染を起こしたが、医療機関では CARD と CBGB のみをサーベイランス対象としているケース



	手術手技	医療機関数	手術件数
全施設合計	CARD	118	7456
全施設合計	CBGB	124	4051
全施設合計	TAA	102	3030

※参考資料
 (2018 年公開情報年報用集計資料より)
 2018 年に CARD、CBGB、TAA を報告した
 医療機関数と手術件数

■ 現行の登録方法

JANIS では合併手術で SSI が発生した場合、いずれか 1 つを SSI ありとして登録をしている。このケースは CARD、CBGB、TAA (SSI あり) で登録すべきであるが、医療機関が TAA をサーベイランス対象としていないため、CARD、CBGB しか登録できない。

■ 現行の登録方法の問題点

合併手術のうち、サーベイランス対象外手技の TAA で SSI が発生している事実がある中で、CARD、CBGB のみを登録し SSI なしと報告することに疑問が残る。心臓外科に限らず、消化器など他の合併手術に関しても同様の問題を内包している。この機会に合併手術でサーベイランス対象外の手技に SSI が発生した場合の登録方法を再確認したい。

■ 今後の運用

以下に挙げる 3 つのパターンのうち 1 つを採用し、同様のケースの登録方法としてすべての合併手術に適用したい。

前提条件：CARD、CBGB をサーベイランス対象としている病院において、CARD+CBGB+TAA の手術が施行された。その後、TAA 部分である人工血管に感染を起こした。

この場合に JANIS にどのように登録するか。現在のところは①案で運用している。

- ① CARD、CBGB のどちらか、予後により影響の大きい方を SSI ありで登録する。残りは SSI なしで登録。
- ② 行った手術として CARD、CBGB を登録。どちらも SSI なしで登録。
- ③ この事例に関しては CARD、CBGB もサーベイランス対象外として登録しない。